

小泉首相が進める特殊法人改革の中で、原研とサイクル機構の廃止・統合が一方的に、昨年12月に閣議決定されました。私たち原研労組は、この決定がわが国の原子力平和利用を開始した原点を忘れ、国民的合意を無視したやり方であり、今後の原子力平和利用を進める上でも懸念があるため、原研の廃止・統合に反対してきました。しかし一方で、統合に向けた動きは着実に進行しており、それに対しての有効な対応が迫られています。

原研労組として取り組むべき課題は、大きく分けて2点あります。ひとつは、新法人における「雇用・労働」条件の確保・維持であり、賃金・処遇のほか、不当差別の是正も含まれています。もうひとつは、新法人としてどのような課題に取り組むのかという「業務」の問題です。1) いまの自分達の仕事がどうなるのか、2) 新法人として何をするのか、そして3) 日本の原子力政策をどうするのか、という幾つかの側面があります。

現在、原研労組では研対部と中執が中心となり、この問題に対する検討会を随時開いて議論しています。できるだけ多くの意見を反映するように、拡大研対としてひろく組合員に参加を呼び掛けると同時に、議論の中身をオープンにし、いち早く組合員にお知らせするために、今後はあゆみ速報と並んで「研対ニュース」を発行する予定です。

今回は第1回目として、研対部員からの投稿を紹介します。今後もニュースの形式にはこだわらず、あゆみ速報よりも柔軟に、各方面の動向からひとり一人のご意見まで、幅広くお伝えしていきたいと考えています。関心をお持ちの方は、どなたでもお気軽にご参加下さい。

連絡先 E-mail : genkenrouso@wing.zero.ad.jp FAX : 029-284-0568

## これまでの拡大研対委員会

- |                |                                      |
|----------------|--------------------------------------|
| 第1回：2001年9月11日 | 議題：特殊法人改革の動向と9/3付の文科省見解など原研労としての取り組み |
| 第2回：2001年10月9日 | 議題：10/5付の行革推進本部統廃合案に対する原研労としての取り組み   |
| 第3回：2002年1月31日 | 議題：12/7付の原研とサイクル機構との統廃合についての閣議決定を受けて |
| 第4回：2002年2月8日  | 議題：原研の統廃合についての具体的な取り組みについて           |
| 第5回：2002年2月14日 | 議題：2/21付の総理大臣・文科省への原研労組の申入書の作成について   |
| 第6回：2002年3月8日  | 議題：申し入れの次段階のより踏み込んだ具体的な提言について        |
| 第7回：2002年3月19日 | 議題：原研統廃合に対するより具体的な提言への取り組み           |
| 第8回：2002年4月11日 | 議題：原子力委員会による原研の統廃合に向けての基本的な考え方について   |